



ばっぺーる通信

農福連携、SDG'sを意識した活動やっています号

ばっぺーる通信とは…ワーカーズホームの活動報告やお知らせなどを皆さまへお伝える通信です。興味を持って読んでくださったらうれしいです。そしてコーヒーを注文していただけたらもっとうれしいです。

ばっぺーるの豆屋 Talk

1月、2月、3月はどこ行っちゃったの？この3ヶ月間、何してたの？っていうくらい気がつけば新年度を迎える驚愕を隠せないばっぺーるの店長ですが、皆さまは無事新年度を迎えられるでしょうか？

あまり話題に上がることがなく、もしかして気にしているのって自分達だけなの？っていう感じですが、新型コロナウィルスの影響でやはり日々の活動に未だ制限がかかっています。面談などで来所する相談員の方々には屋外でモニタリングしていただくなどのご不便をおかけしていますが、おかげさまで今の所、ワーカーズホームではひとりの感染者を出さなく活動を続けています。この状態はまだまだ続きそうです。そんな制限のある環境下で精一杯の活動を計画し実行していく所存ですので、どうか皆さまよろしくお願いたします。

開設以来継続して行なっている農園でのコーヒー栽培ですが、やっと収穫量が増えてきて商品として皆様にお届けできるようになりました。「農福連携」と言われてしまうとなんだか途端にやっていると店長のヘンが曲がっているだけなのはおかしいのですが、やっぱり面白くありません。農園に限らず、私たちがやっていることに対して誰かが意味付けしたり意見したり名前をつけられると、それは自分達のものではなくなくなってしまいうような気がしてしまいます。

私たちはコーヒーの生豆を月間で100キロほど購入し、加工、販売しています。外国産の生豆の中には欠けているもの、形がいびつなもの、カビているものなどが混入しているの、一粒ずついい豆と悪い豆を選り分ける

ワーカーズホームのコーヒーが飲めるのはワーカーズホームカフェだけ！

作業を行なっています。これはとても根気のいる作業で、5分ほどで「いい」となってしまいうメンバーがいますが、知的障害のメンバーはとていねいに行なっています。他のメンバーがよい分けたい豆の中にもまだまだ悪い豆が入っている場合が多々あります。そんな時は、知的障害のメンバーがそれをさらに選別します。すると欠点豆がない、粒の揃った美しいコーヒーができていきます。ここで弾いた欠点豆は焙煎機の練習用として焙煎し、自分で飲んでいきます。つまり、1000キロの生豆の中から廃棄するのはほんの数グラムなのです。

最近、世界的にコーヒー生豆の生産量が下がり価格が高騰し、さらにコーヒー農園を拡大するための森林伐採が大きな問題となつていますが、少しでもムダのないように、わたしたちができることは精一杯行っています。これをSDG's活動と言われるのは心外なのですが、まあ、そこは時代の流れに乗るのにも必要だよ、ってことで納得しています。

そんなめんどうくさいことをぶつぶつ言う店長がいる事業所ですが、いつでも利用者を集めています。一緒にこたわりを持って楽しんでお仕事をしてくる方からのお問合せお待ちしております。

今月の新商品

言われなきや分からない

カフェインをなるべく摂取しないよう心がける店長でも飲めるようにとの配慮でカフェインレスコーヒーを扱っていますが、今回新たに3種類の豆と、それをブレンドした計4種類のカフェインレスコーヒーを作りました。カフェインはいらなくても、おいしいコーヒーが飲みたい、という方は是非一度お試しください。



←まずは飲み比べセットでお試しい。5種類入って550円

今月の農園

コーヒーの木9本いただきました

まなキキプロジェクトを通してコーヒーの苗木9本分のご寄付いただきました。先日いつもお世話になっている又吉農園の又吉さんから苗木を購入し、農園に植えることができました。当日はカフェを閉めて全員で農園へ行き、植樹を行いました。この日のために東京からまなキキ事務局の方が来沖し、一緒に作業をしました。



ばっぺーる通信 Vol.10No.01,02

2022年5月10日発行

発行 一般社団法人むら

沖縄県宜野湾市大謝名 4-6-28

電話 098-955-1692

Eメール info@muraokinawa.org

Web muraokinawa.org